

まき 真木レポート第12号

1年間の政策提言

Policy recommendations over the past year



第9回マニフェスト大賞を受賞しました！

全国の地方議員、首長、議会などの活動を表彰する「第9回 マニフェスト大賞」が開催され、過去最高となる 2,223 件の応募の中から、優秀政策提言賞を受賞いたしました。

受賞した提言は、公用自転車の前かごに「自転車は左側通行」の文言と大きな矢印を付したプレートを表示する、というものです。

自転車が車道の左側を通行すると、クルマから認識されやすくなり、自転車事故の7割を占める交差点での事故率が低くなることが実証されています。

審査委員からは、①向かい合ってすれ違う逆走自転車への啓発になること ②自転車に乗る本人の交通ルール遵守が徹底されること ③導入コストが低いこと の3点が評価され、今回の受賞となりました。

なお、全国初となる戸田市での導入後、現在は岡山市や新座市など、全国に取り組みが広がっています。



▲六本木ヒルズで開催された表彰式（2014年11月14日）。また、表彰式前日に行われた受賞者によるプレゼン大会では、3位に選ばれ優秀プレゼン賞を受賞しました。

第10回マニフェスト大賞も受賞！



本年11月6日に開催された「第10回 マニフェスト大賞」では、文教・建設常任委員会の「“人の集まる図書館”に向けた図書館改革」の取り組みが、優秀成果賞を受賞しました。

全国からは2,467件の応募があり、その中で、図書館の活性化に向けた市民や行政との協働が評価されました。また、「委員会」としての受賞は、第10回を迎えたマニフェスト大賞の歴史の中で初となります。

図書館が、「本を借りに行くだけの場所」ではなく「なんとなく立ち寄りた場所」となるよう、委員会では、2年間をかけてイベント開催や提言書作成に一丸となって取り組みました。

今後の戸田市立図書館に期待してください。

ご挨拶

秋も一段と深まり、日増しに寒さが身にしみる季節となりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

おかげさまで、市議会議員となり二年と十ヶ月が過ぎました。

この間、市民のみなさんから頂いたご意見や私の掲げる政策をもとに、議会でも多くの提言をさせていただきま

した。それらの提言が市政に反映されたこと、またいくつかの提言に評価を頂けたことに対し、議員としての充実感を得ています。しかしその一方で、これらの提言が市民

のみなさんの福祉向上に真に繋がるよう、検証と改善を続けていく必要性も感じているところです。

この「真木レポート第12号」では、平成二十六年九月議会から平成二十七年六月議会の一年間に私が行った提言をまとめていきます。お手に取って、ご一読いただければ幸いです。



9月議会

小学生への 体育館の 遊び場開放

真木 子供達が遊べる空間が減少し、行政が遊び場を創出する時代になった。放課後の体育館を開放し、下校前にボール遊びができるようにしては？

放課後子供教室での体育館自由遊びがスタート。今後は、開催日の拡大が課題。なお、都市化の進んだ自治体では、土日や夏休みを含めて毎日実施されています。



通学路の 登下校指導 マニュアル

真木 登下校指導においては、児童の安全確保だけでなく、左右確認をさせるなどの「交通安全教育」の視点も必要。指導用マニュアルを作成しては？

藤警察署の監修のもと、望ましい安全指導の方法を示した「はたふりハンドブック」を戸田市が作成。PTA やボランティア指導員の方々に配布されている。



開票作業の 不正防止

真木 いくつかの自治体で発覚した開票不正は、民主主義の根幹を揺るがす重大な犯罪である。戸田市でも、開票作業の監視を強めるべき。

開票参観席に開票作業の流れ図が掲示され、参観者による監視の目が加わった。今後の社会情勢によっては、監視カメラ設置の準備も進められる。



12月議会

市庁舎の情報 セキュリティ

真木 閉庁後の市庁舎へ簡単に入ってしまうが、他自治体では書類の盗難事件が発生している。閉庁後の出入管理の徹底を。

夜間出入口における記名が徹底されるとともに、3台の監視カメラが設置された。あわせて、「戸田市庁舎管理規則」の改正も検討されている。



大学生ボラン ティアによる 学習支援

真木 学力格差や貧困の連鎖が問題となっている。教員を目指す大学生などを、学習支援ボランティアとして募集してはどうか。

学校応援コーディネーターを通じた大学生ボランティアの募集がスタート。今後は、ボランティア人材を活用した学習支援事業の実施が課題。



シニア男性の 子育て支援

真木 社会経験の豊富なシニア男性に、地域の子育て支援事業へ参加してもらってはどうか。

NPO 法人あい・ぼーとステーションとの協働による「戸田市子育て・家族支援者養成講座」が来年1月にスタート。
※申し込みは11月30日(月)まで



平成26年
9月

12月

平成27年
3月

6月

提言と反映

一年間の活動報告

3月議会

福祉センター の多世代利用

真木 福祉センターの稼働率が30%を下回っている一方で、子供や子育て世代からは「施設を使わせてもらいたい」という声が上がっている。多世代利用に向けた見直しを図っては。

高齢者の利用に限られていた広い和室が試験的に開放され、館内にベビーカー置き場やおむつ交換台、授乳スペースも用意された。理想は、上戸田の「あいバル」。



生活道路の 自転車 ナビライン

真木 自転車事故の多くは、生活道路の交差点で発生している。幹線道路の自転車レーンだけでなく、生活道路にも自転車走行空間を整備すべき。

最新の手法である「自転車ナビライン」が、生活道路へ試験的に整備される予定。今後、「自転車レーン計画」の見直しも検討される。



道路の 安全対策

真木 ①車道に置かれた広告物は危険であり、道路法にも違反している。発見次第、即時撤去すべき。

即時撤去が徹底されたことにより、車道に違法広告物が設置されることが少なくなった。

真木 ②防犯灯を新設するにも、費用と環境負荷は掛かる。代わりに、暗い夜道に設置されている道路照明灯をLED化してはどうか。

市内の一部の道路照明灯が優先的にLED化される予定。



6月議会

企業による 障害者雇用

真木 障害者の雇用を考えている企業はあっても、スムーズに相談できる環境が整っていない。働きたい障害者との橋渡しを。

企業にとって、障害者雇用についての相談をしやすく、かつ情報を得やすくするための環境整備が予定されている。



浄化槽使用者 への配慮

真木 戸田市の浄化槽に関する事情(※)を踏まえると、昨年度に送付された「法定検査は義務。費用は自費。罰則あり。」との通知には、配慮が欠けている。

今年度の通知は、浄化槽管理への理解を促すような内容のものに改善される予定。



開票立会人の 正確性

真木 開票立会人が票の確認を行う際に「迅速性」ばかりが求められており、ミスや不正が招かれかねない。「正確性」が第一であることを確認すべき。

次回の選挙から、開票立会人に対する「正確性」確保の周知徹底と、票束のサンプルを用いた予行練習が実施される予定。



(※) 3人家族のモデル世帯において、下水道使用料は年間約9300円、浄化槽の維持管理費用は、年間に均すと約5万5000円(法定検査費用は除く)。なお、戸田市の下水道料金は日本一安い、それは、市からの毎年約3億円の赤字補填によって維持されている。そこには、浄化槽使用者の納める税金も含まれている。

競艇組合議会 (平成27年6月)

戸田競艇組合議会において一般質問を実施(戸田市選出議員としては28年ぶり)。戸田競艇事業の経営改善に向け、入札方法の透明化や財政状況の公表を求めました。



その他

(平成26年9月) 学童保育料における多子軽減措置の必要性を指摘しました。

(平成27年4月) 北戸田駅西口に仮設歩道が設置されました。

(平成27年6月) ウェルシア薬局戸田新曽店前の交差点への横断歩道設置を求める要望書を提出しました。

これまでの改善実績

土のうステーション

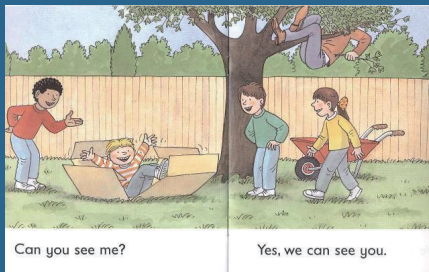
(平成 25 年 12 月議会 一般質問)



個人でできる一番の冠水対策となる土のうを自由に取り出せる「土のうステーション」が、県内で初めて市内9か所に設置されました。(その後、和光市や蕨市にも広がっています。) また、SNS 等による災害情報提供の充実も図られました。

イギリスの絵本教科書

(平成 25 年 6 月議会 一般質問)



イギリスの小学校で国語の教科書として採用されている絵本教材 “Oxford Reading Tree” が、図書館に所蔵されました。可愛い大きな挿絵と楽しいストーリーを読み進めていくうちに、自然と本場の英語が身に付きます。

教育行政の改善

(各議会)



- 危険性の高い人間ピラミッドの見直し
- 未納給食費と児童手当との相殺
- 全国学力テストの結果公開と分析
- 21 世型スキル育成の普及
- 英語教育人事の改善
- 教育委員会定例会の活性化 など

一時保育の土曜日実施

(平成 26 年 3 月議会 一般質問)



平日とは異なるニーズのある土曜日の一時保育が実施されました。また、全国2か月分の申し込み状況の HP 公開や申込み手続きの簡略化など、利便性の向上が図られました。今後の課題は、リフレッシュ枠の拡大と、電話や FAX による申込み制の導入です。

自転車レーンの改良

(議会・委員会・担当課)



より走りやすい自転車レーンに向けて、さまざまな改良が図られました。

- 白い矢印の増設【委員会】
- 県道への自転車レーン設置【会派】
- 交差点のナビラインの拡幅
- 目の細かい側溝蓋への交換
- 路面標示の厚み削減

災害用の自動ラップ式トイレ

(平成 25 年 9 月定例会)



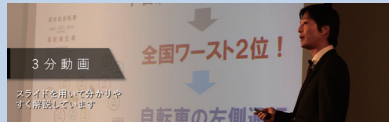
避難所でのトイレ対策は、感染症やエコノミー症候群など、生命の危険につながる重要な問題です。自動ラップ式トイレは、排泄物を自動で密封するもので、避難所生活者と運営者の双方から高い評価を得ています。まずは、市内の福祉避難所に備蓄されました。

真木大輔公式サイトのご紹介



<http://makidaisuke.jp> ⇒ 「真木 戸田」で検索できます

3分動画



思い入れのある政策提言(自転車は左、子供の遊び場、防災と安全など)について、自作のスライドを用いて分かりやすく解説しています。動画は、スマートフォンからも視聴できます。

ブログ



本レポートの紙面でお伝えした内容は、活動の一部です。私の政策提言やまちづくりのビジョン、最新の市政動向や時事問題に関する考察などを、公式サイト内のブログに日々綴っています。

議事録



政策提言の背景にある市民の切実な声や根拠となるデータを、行政へ明快に伝えることも議員の役目です。公式サイト内の「議事録」では、議場でのやり取りの全文を読みやすい形でまとめています。

※他にも、過去の真木レポートや活動実績の一覧、議場映像などを掲載しています。

プロフィール Profile

真木 大輔 (まき だいすけ)

《役職》

戸田市議会議員 (1 期目)
政党無所属 (党籍・党歴なし)
市民生活常任委員会 副委員長
(⇒委員会では、スポーツセンターの今後のあり方を検討しています。)
会派「戸田の会」副代表
埼玉銀杏会 (東大同窓会) 若手交流会 幹事
NPO 法人 自転車活用推進研究会 会員

《経歴》

昭和 57 年 3 月 7 日生まれ 33 歳 (既婚)
新曾在住 (ドイツの近く)
茨城県日立市出身
茨城県立水戸第一高等学校 卒業
～ 3 年間の浪人生活～
東京大学教養学部 基礎科学科 卒業
同大学院 駒場素粒子論 中退
その後、主に予備校講師として物理を教える

特に、教育政策に力を入れています。

座右の銘「和を以て貴しとなす」



討議資料 真木大輔後援会 発行
住所：戸田市大字新曾 1057-803
電話 / FAX：048-234-8435
メール：dai@makidaisuke.jp